

基本習得コース

【一般目標】

生涯にわたる研修を行うために、より広範囲の歯科医療について知識、態度及び技能を習得する態度を養う。

到達目標	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	症例数の数え方	修了判定の評価基準
(1) 救急処置	/	/	各研修歯科医を担当する指導歯科医による口頭試問を行う。		口頭試問は指導歯科医が評価(5段階)を行い、目標達成の基準として、評価が3以上を2例以上取得することが必要。
【一般目標】					
歯科診療を安全に行うために、必要な救急処置に関する知識、態度及び技能を習得する。					
【行動目標】					
① バイタルサインを観察し、異常を評価する。	1) 当科内で行われる研修医セミナーへの参加 2) 意識の確認、脈拍の触診、血圧計や酸素飽和度測定機器の使用法の習得	2症例 (口頭試問)			
② 服用薬剤の歯科診療に関連する副作用を説明する。	1) 当科内で行われる研修医セミナーへの参加 2) 口頭試問				
③ 全身疾患の歯科診療上のリスクを説明する。	1) 当科内で行われる研修医セミナーへの参加 2) 口頭試問				
④ 歯科診療時の全身的合併症への対処法を説明する。	1) 当科内で行われる研修医セミナーへの参加 2) 口頭試問				
⑤ 一次救命処置を実践する。	当科内で行われる研修医セミナーへの参加				
⑥ 二次救命処置の対処法を説明する。	当科内で行われる研修医セミナーへの参加				

到達目標	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	症例数の数え方	修了判定の評価基準
(2) 医療安全—感染予防					
【一般目標】					
円滑な歯科診療を実施するために、必要な医療安全・感染予防に関する知識、態度及び技能を習得する。					
【行動目標】					
① 医療安全対策を説明する。	1) 当科内で行われる研修医セミナーへの参加 2) 病院全体で行われるリスクマネジメント研修会への参加 3) 院内で実施されるe-learningの受講				
② 医療事故及びヒヤリ・ハットを説明する。	1) 当科内で行われる研修医セミナーへの参加 2) 病院全体で行われるリスクマネジメント研修会への参加 3) 院内で実施されるe-learningの受講				
③ 医療過誤について説明する。	1) 当科内で行われる研修医セミナーへの参加 2) 病院全体で行われるリスクマネジメント研修会への参加 3) 院内で実施されるe-learningの受講				
④ 院内感染対策（Standard Precautionを含む）を説明する。	1) 当科内で行われる研修医セミナーへの参加 2) 病院全体で行われる院内感染対策研修会への参加 3) 院内で実施されるe-learningの受講				
⑤ 院内感染対策を実践する。	診療用器具の準備や整備、診察時や病室入室前後の手指消毒の徹底				
		セミナーおよび研修会への参加、e-learningの受講は必修。			必修となっているセミナーや研修会への参加およびe-learningの受講により修了とする。

到達目標	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	症例数の数え方	修了判定の評価基準
(3) 経過評価管理			各研修歯科医を担当する上級歯科医・指導歯科医を決め、症例発表の際にサポート等を行う。		症例発表は指導歯科医が評価(5段階)を行い、目標達成の基準として、評価が3以上を1例以上取得することが必要。
【一般目標】					
自ら行った治療の経過を観察評価するために、診断及び治療に対するフィードバックに必要な知識、態度及び技能を習得する。					
【行動目標】					
① リコールシステムの重要性を説明する。	症例検討会に参加、症例発表	1症例(症例発表)			
② 治療の結果を評価する。	症例検討会に参加、症例発表				
③ 予後を推測する。	症例検討会に参加、症例発表				
(4) 予防・治療技術			各研修歯科医を担当する指導歯科医による口頭試問を行う。		口頭試問は指導歯科医が評価(5段階)を行い、目標達成の基準として、評価が3以上を1例以上取得することが必要。
【一般目標】					
生涯研修のために必要な専門的知識や高度先進的技術を理解する。					
【行動目標】					
① 専門的な分野の情報を収集する。	医学・生物学分野の学術文献検索による情報収集法を習得、口頭試問	1症例(口頭試問)			
② 専門的な分野を体験する。	当科の専門外来の診療見学、症例検討会への参加				
③ POS (Problem Oriented System) に基づいた医療を説明する。	Problem listを整理し、SOAPに従った診療録を記述				
④ EBM (Evidence Based Medicine) に基づいた医療を説明する。	当科内で行われる抄読会に参加				

到達目標	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	症例数の数え方	修了判定の評価基準
(5) 医療管理					
【一般目標】					
適切な歯科診療を行うために、必要となるより広範囲な歯科医師の社会的役割を理解する。					
【行動目標】					
① 歯科医療機関の経営管理を説明する。	文献・インターネット検索、口頭試問	1症例 (口頭試問)	各研修歯科医を担当する指導歯科医による口頭試問を行う。		口頭試問は指導歯科医が評価(5段階)を行い、目標達成の基準として、評価が3以上を1例以上取得することが必要。
② 常に、必要に応じた医療情報の収集を行う。	文献・インターネット検索を行う				
③ 適切な放射線管理を実践する。	患者や医療従事者の被曝に配慮し、放射線防護を実施				
④ 医療廃棄物を適切に処理する。	医療廃棄物を適切に分別し、感染性廃棄物を安全に取り扱うことが出来るよう、院内のルールを理解し実践				
(6) 地域医療					
【一般目標】					
歯科診療を適切に行うために、地域医療についての知識、態度及び技能を習得する。					
【行動目標】					
① 地域歯科保健活動を説明する。	文献・インターネット検索、口頭試問	1症例 (口頭試問)	各研修歯科医を担当する指導歯科医による口頭試問を行う。		口頭試問は指導歯科医が評価(5段階)を行い、目標達成の基準として、評価が3以上を1例以上取得することが必要。
② 歯科訪問診療を説明する。	文献・インターネット検索、口頭試問				
③ 医療連携を説明する。	研修協力施設での診療補助				

到達目標達成のため、当施設ではその他以下の研修を行う。

◇採用時：

- * 医科研修医と合同のガイダンス（医療倫理、医療情報システム、リスクマネージメント、院内感染対策、インフォームドコンセント、処方箋の書き方、臨床試験などに関する講義）

◇外来研修：

- * 診療用器具の準備、整備
- * 上級医の診療補助（基本的歯科診療のほか難抜歯、歯根端切除術、嚢胞摘出、インプラント、歯周外科、顎補綴、矯正治療、精神鎮静法など）
- * 感染症、全身疾患を有する患者の診療補助
- * 初診患者の病歴聴取
- * カルテの記載、処方箋の作成、医療情報の管理、伝達
- * 基本的歯科診療（う蝕、歯髄疾患、歯周疾患の治療、欠損部補綴、歯科技工、抜歯、外傷（歯、歯槽骨、口腔軟組織）、修復物脱離に対する処置など）
- * 歯科診療保険請求のチェック
- * 研修医臨床カンファレンス（毎月2回）
（各回テーマ別のプレゼンテーション、担当症例の供覧、治療法に関する知識向上など）
- * 保存・補綴・矯正・口腔外科臨床に関する講習受講と基礎実習
- * カンファレンス（症例検討）への参加（カンファレンス資料の準備、管理を含む）

◇病棟研修：

- * 入院時の病歴聴取（医療面接）
- * 入院患者の創傷処置
- * 末梢静脈穿刺と静脈ライン確保、動脈穿刺技術の習得
- * 皮内、皮下、筋肉、末梢静脈、輸血等注射技術の習得
- * 内服、注射処方箋の作成
- * 各種検査、処置のオーダー
- * 臨床検査値の解釈とそれに対する対処法の習得
- * 術前説明への同席、記録
- * 診断書、証明書、依頼書等の作成
- * 手術室での手術補助
- * 上級医の当直業務補助（月1回程度）
- * 基本的な外科的処置
- * カンファレンス（症例検討）への参加（カンファレンス資料の準備、管理を含む）

◇外来研修、病棟研修共通：

- * 当科内で行われる研修医セミナー（年18回、各回テーマ別）への参加
- * 病院全体で行われるリスクマネージメント研修、院内感染対策研修などへの参加

◇研修協力施設：

- * 病診連携の実際、歯科保健衛生活動など